

2020 年度 (令和 2 年度) 学校評価自己評価表

済美	中学校区	校番 18	福山市立	瀬戸小	学校
最終更新日			2020年(令和2年)4月1日		

I 福山市 ミッション 福山に愛着と誇りを持ち、変化の激しい社会をたくましく生きる子どもを育てる。
 ビジョン 「福山100NEN教育」の基本理念のもと、各中学校区・学校が「21世紀型“スキル&倫理観”」の育成に向けた特色ある教育課程を編成し、日々の授業を中心として評価・改善を進めながら、子どもたちの確かな学びを実現している。

II 中学校区

前年度学校関係者評価の主な内容 ○学びを変えていく中で、諸々の見直しについての具体を分かりやすく発信してほしい。 ○評価会議について、委員が責任を果たせるよう工夫する必要がある。	児童生徒の現状 ○基礎的・基本的な学力はおおむね定着しているが、それらを活用した思考力や表現力、またねばり強く問題に取り組む姿勢には課題がある。 ○校区一体となったあいさつや無言清掃等の取組を通して、児童生徒の集団への意識が高まっている。また集団を牽引するリーダーも育ててきている。	育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”) ○ 課題発見・解決力 ○ コミュニケーション力 ○ 他者とかかわり合う力・心	めざす子ども像 ① 目標や課題解決に向かって粘り強く努力し、チャレンジしている。 ② 場面や目的に応じた豊かな表現力を身につけている。 ③ 多様な他者とかかわり合いながら、共によりよく生きようとしている。	中学校区として統一した取組等 ○社会に開かれた教育課程「校区カリキュラムマップ」の実現 ○「主体的、対話的で深い学び」のある授業づくりの研修 ○児童会、生徒会活動の活性化による規範意識と共感的人間関係の育成
---	---	--	---	--

III 自校

ミッション

**「子ども主体の学び」
「よりよいかかわり」を通して**

**課題発見・解決力、コミュニケーション力、
他者とかかわり合う力・心の育成**
～自己効力感・有用感・肯定感を育みながら～

学校教育目標

自ら考え学び合い、ともによりよく生きる子どもの育成

現 状

〈児童生徒〉
①日々の無言そうじや、運動会での表現・応援活動など、6年生を中心とした異年齢集団活動が定着・活性化しているが、児童会・委員会・学級活動等の運動による「子ども主体の活動→学び」を、活性化・見える化・評価することに課題がある。
②全国・県平均との数値比較等から、体力・学力ともに課題がある。
③担任等の粘り強い取組により改善傾向の児童も見受けられるが、欠席等が続き、学校での学びが十分でない児童が少なからずいる。

〈授業〉
①「児童自らが問いを持つ・話し合う」等、「子ども主体の学び」が進みつつある場面が見受けられた。
②「ふり返り」の目的・内容・方法を児童と確かめ合い、評価・交流を行うことで、次の学びへの意欲・見通しをもたせたり、「学び方」を学んだりすることに課題がある。
③自分の考え等をつぶやく姿・場面はあるが、他者の考え等をしっかり聴き、自分の考えを広げ・深めたり、まとめたりする単元構成・授業展開・評価に課題がある。

育成する力 (21世紀型“スキル&倫理観”)	○課題発見・解決力	○コミュニケーション力	○他者とかかわり合う力・心
めざす子ども像 小学校 1・2年 3・4年 5・6年 中学校 1年 2年 3年	自ら問いやめあてを持ち、自分の考えやその理由を、適切なことばで書き留めながら（「見通す⇔振り返る」を繰り返して）学び続けている。	自分の周りの人たちのことを、目線を含め、うなずき・つぶやく「へえ～・ほお～・なるほど・すごいね！」等ながら、聴いている。	自分の周りの人たちの思いや、そう思う理由に気づき、自分の思いを、素直なことば「はい・ありがとう・ごめんなさい」等で表したり、誰かの役に立とうとしたりしている。
枠内は、当該学年のB規準 ↓ A ↓ S ↓ VS	学び続ける中で、学習内容や学び方等を振り返りながら、次の目標や課題を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。	自分の考えを、相手に分かりやすく（主・述の明示、結論→根拠、例え話の挿入、図表や絵・写真・初体験の活用、声のボリューム、間の取り方等）伝えている。	相手の立場(状況)やその時の思いを、自分に置き換えて想像し、共通・相違点を見出しながら、（折り合いをつけて歩み寄りたり「そうか・そうなんだ」等、励ましたり「大丈夫？ いっしょにやろう」等しようとしている。
	学び続ける中で、学習内容や学び方等を自ら見出し、見通しを持って学びに向かっている。	相手の考えを、自分の考えと比べたり関連付けたりしながら聴き、問い返したり、整理し直してより明確に伝えている。	多様な他者とかかわりを通して、（時には、衝突しながら）それぞれの良さやちがいを発見し、受け入れながら、助け合ったり、（競い合い）高め合ったりしようとしている。
	学びの過程や結果から気付いた・考えたこと、その意味・価値・つながりを振り返り、見出した次の目標や課題を、見通しを立てて情報を収集・整理・活用しながら（他者を巻き込んで）達成・解決している。	自分の考えを、多様な他者に分かりやすく伝えながら、質問（反論・同意）・説得・納得を繰り返して、考えを広げ・深めるとともに、まとめたり（合意形成）、新たな発想を生み出したりしている。	集団（地域、学校・学年・学級等）活動における自らの役割とその目的・価値を見出し、多様な他者と認め合い・許し合い・補い合いながら、責任を果たそうとしたり、貢献しようとしていたりしている。
	自己認識 ・ 自己表現 ・ 自己実現		
研究	教科等 理科・図画工作科		
	主題・内容等	「自ら問いや考えを持ち、 伝え合い・聴き合いながら、粘り強く学ぶ」児童の育成	
めざす授業の姿	全ての子どもたちが、日々の授業で「自ら問い（なぜ・どうして？）を持ち、（つなげて）考えている」「考えたことなどを、伝え合い・聴き（訊き）合いながら、広げたり・深めたりしている」「（見通しを立てたり、振り返ったりしながら）粘り強く学んでいる」		